

講義名	情報通信産業論			授業形態	
担当教員	寺口 敏生	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

### 主題と概要

情報通信技術の発展に伴い、情報通信を用いた様々なサービスが開発・提供されている。特に1995年以降、一般の消費者まで普及したインターネットは、スマートフォン等の情報機器の普及に伴い加速度的に利用場が拡大しているという社会的背景がある。また、2020年に生成AIが登場し、今後の仕事やサービスの在り方を大きく変えるものと見込まれている。本講義では、学生にとって身近なサービス（Web検索、ネットショッピング、SNS、チャットAI等）の紹介を導入とし、情報通信産業がこれまでに社会に与えてきた影響と、日本を含む世界が目指す将来の社会像を把握することを目指す。

### 到達目標

本講義では、情報通信産業の現在と将来の見通しを把握し、第三者に説明できるようになることを目標とする。

### 提出課題

講義中に、Microsoft FormsやRespon等の機能を通じて講義内容に関するレポート課題を出題する（各講義内に提出）。また、講義の区切りに、指定した締切までに提出する取りまとめレポート課題を出題する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義中の解説をもってレポート課題のフィードバックとする。

### 評価の基準

期末試験は実施せず、講義中に出席する2種類のレポート課題（講義内レポートと取りまとめレポート）にて評価する。レポートの内容は主に3段階評価を想定し、取りまとめレポート課題のみ期限を過ぎても提出を受け付ける（ただし満点にならない点に留意されたい）。

### 履修にあたっての注意・助言他

2回目以降の講義資料は、講義開始前にWeb（キャンバスクロス）経由で提供する。各講義中のレポート課題は、事情の説明があれば期日後も受け取るが、配点が少なくなる点には留意されたい。

### 教科書


### 参考図書


### その他

講義内で提示したキーワードをインターネットを通じて検索したり、紹介した無料アプリを使用してみる等の積極性に期待する。

### 授業計画

- 第01回 ガイダンス  
復習：講義内にて紹介したキーワードを基に情報検索を実施し、基礎的な知識の獲得に取り組み。（240分）
  - 第02回 情報通信産業の概要と事例  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第03回 インターネットの歴史  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第04回 SNS  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第05回 Web広告の仕組み1  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第06回 Web広告の仕組み2  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第07回 クラウドサービス  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第08回 AI技術の事例  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第09回 AI技術を用いたサービスの事例  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第10回 5G通信と情報通信産業  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第11回 現実世界の情報通信の活用  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第12回 SDGsと情報通信産業  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第13回 新しい情報通信サービス  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第14回 講義のふりかえり  
復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）
  - 第15回 まとめ  
復習：これまでの講義内容を振り返り、獲得した知識を整理したうえで、就職を含め、情報・通信業の動向を継続的に調査するよう習慣付ける。（240分）
- 注：受講者の進捗具合により、授業計画の見直しを行う場合がある。  
詳細は初回授業時に説明する。  
なお、講義で紹介する内容は、あくまで自己学習の導入である点に注意すること。

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「様々な産業に活用されている情報システムの仕組みの理解」と「ITに関する専門知識や情報処理能力を用いて様々な問題に対する解決策を提案する能力の獲得」を達成するための科目である。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義に関する質問は、講義時間外でも随時受け付ける。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり。具体的な情報処理技術や事例を基に講義する。

### 備考

--